

一八日、静岡の日赤医療チームからお薬を頂戴し、翌日には大阪市大医学部附属病院のDMA
T（災害急性期に活動できる機動性を持つ医療チーム）がやってきてくれました。同じ日、長崎大
医学部の山本太郎教授が率いる熱帯医学研究所の皆さんも到着。さつきもいったように不衛生か
らくる感染症、特にノロウイルスのパンデミックが心配になっていたんだけれど、研究所のスタ
ッフには次亜塩素酸での消毒に始まって、適切な対策を取っていただきました。感染症のエキス
パートや被災地医療の特別なトレーニングを受けた彼らの支援のおかげで大いに助かりました。